

AIFA AWARDS 2018
女子ベストイレブン(年間優秀選手)

昨年は、全国大会出場は逃したものの、多くのことを経験・吸収できた素晴らしい1年でした。そのご褒美に「ベストイレブン」に選ばれたことはとても光栄です。



賞に恥じることなく、チームとして掲げた「インカレ出場」を必ず果たすこと、さらにタイトルを取れるようにチーム一丸となり頑張ります。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 土井咲良さん
神奈川県立藤沢清流高等学校出身 ●女子サッカー部

東海学生テニス連盟
「新人優秀賞」

東海学生テニス連盟から2018「新人優秀賞」をいただきました。選抜していただいた連盟の方、お世話になった監督・コーチ・トレーナー、そして毎日一緒に練習をしているテニス部のみんなのおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいです。



次の大会「優勝」を目標に、テニスはもちろん人間的にも成長していきたいと思えます。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 足立有香さん
沖縄尚学高等学校(沖縄県)出身 ●テニス部

東海学生サッカー連盟
男子サッカー部2年連続「アシスト王」

第57回東海学生サッカーリーグ戦1部において2018「アシスト王」を受賞しました。

昨年度貫井先輩の受賞に続き、男子サッカー部として2年連続のタイトル獲得に、チームのみんなからも大いに祝福してもらいました。



今後もさらに上位を目指し、DFとしてチームを支え、リーグ優勝へ向け練習に励みたいと思います。

経営学部4年 伊藤祐貴さん
三重高等学校(三重県)出身 ●男子サッカー部

めいけいのオープンキャンパスへ行こう!

事前予約webで受付中!

みんなで来てねお待ちしております!

7/21(日) 8/4(日)・24(土) 9/7(土) 11/9(土)

◆10:30~14:30(10:00 受付開始) ◆学部学科説明 / 体験授業 / 学食無料体験 / 総合相談コーナー など

ACCESS

名鉄小牧線「田原神社前」駅から徒歩10分
無料スクールバスが利用できます!



10/12(土)・13(日)

MEIKEISAI
10月12・13日は、名経祭(大学祭)!
入学相談会も同時開催。

LUNCHTIME
ランチを食べながら学生クルーとのおしゃべりをお楽しみください!

2020年度入試日程

※選考方法については、「2020年度入学試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)

入試区分	出願期間(必着)	試験日	合格発表日	
A O	I 期	2019年9月2日(月)~9月13日(金)	9月21日(土)	
一般推薦	前期	2019年10月1日(火)~10月25日(金)	11月2日(土)	
入試区分	出願期間(必着)	試験日	審査結果発表日	合格発表日
プラチナ奨学生選抜	2019年11月12日(火)~12月6日(金)	12月15日(日)	12月20日(金)	1月31日(金)

※その他、AO入試(Ⅱ~Ⅶ期)、一般推薦(後期)、一般入試、センター利用入試も実施します。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学	修士	I 期	2019年8月27日(火)~9月5日(木)	9月29日(日)	10月4日(金)
会計学	会計学	博士前期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士				

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。

※法学研究科(修士・博士後期課程)、会計学研究科(博士前期・後期課程)、人間生活科学研究科では、Ⅱ期試験(2月)も実施します。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、112年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方のご寄附については、確定申告時に税額控除と所得控除の2つの制度から、より所得税の減税効果が大い制度を選択することが可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.59について、ご意見や感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI

MEIKEI 名経大通信 Vol.59

2019年7月15日発行 名古屋経済大学

〒484-8504 愛知県大田市内久保6-1-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagoya-ku.ac.jp/

入試広報部 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700
●本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転載・複製・転写を禁じます。



2019年度 入学式

4月1日(日)、市邨記念体育館にて名古屋経済大学および大学院の入学式を挙行了。天候にも恵まれたこの日、真新しいスーツに身を包んだ新入生が大学生活の第一歩を踏み出しました。

開式の辞、大学歌の斉唱の後、佐分学長は「本学が教育目標として掲げるのは『グローバル人材の育成』です。現代社会は、急速にグローバル化しています。皆さんが企業に勤める時には海外とかかわっていない企業はないと断言できるでしょう。日本人がグローバル人材となるには、日本文化をよく理解することが必要です。本学では留学生を迎え入れ、留学の機会を拡大しつつあります。皆さんもぜひ留学を経験し、グローバル人材に育っていただきたいと思います」との言葉が贈られました。佐分学長の告辞に続き、末岡仁理事長、来賓の犬山市長山田



拓郎氏、犬山商工会議所会頭日比野良太郎氏から祝辞を頂戴しました。



新入生を代表し宣誓をする橋本さん



女子バスケット部 ニューフェイス



満開のサクラの花がお出迎え...



フレッシューズ・セミナー 法学部

犬山キャンパス 4/4(木)

新入生へ向けてフレッシューズ・セミナーを開催

4月4日(木)に法学部では新入生を対象に、「フレッシューズ・セミナー」を開催しました。各方面で活躍している本学出身の先輩方から、貴重なお話を伺いました。

司法書士などの資格を持つ福島さんからは、各種資格を取得することで所属先のネームバリューに頼らずに自分自身の能力で生きていけるとのお話がありました。警察官の戸辺さんは、本学のキャリアセンターを最大限に



資格取得の勉強法や現在の仕事について語る 福島さん

活用し、早めに将来の準備をすることをご提案されました。名古屋市役所に勤務する岡田さんからは、勉強以外にも大学時代の友人関係が後に大きな財産になるとのアドバイスがありました。最後の講演者である不動産業界で働く中村さんは、卒業後フリーターの時期があったけれども、宅建の資格を持っていたおかげで長いブランクがあったにもかかわらず不動産業界に就職できた、というご自身の体験談を話してくださいました。また、この日には本学が実施している中国やベトナム、カナダへの長期留学または短期語学研修についての紹介があり、実際に行った先輩方からの体験談もありました。(法学部准教授 水島玲央)



3週間に及ぶ「カナダ研修」での体験を新入生に語る鶴飼さん

Voice フレッシューズ・セミナーを受講して

フレッシューズ・セミナーでは、新入生を対象に学生としての心構えや、資格取得について講演をしていただきました。右も左も分からないような状態の中で、将来進みたい道へ進むための指針となりました。OBの方に道の進み方を教えていただいたので、その道を歩めるように4年間という大学生活の中でしっかりと精進していきたいです。

法学部1年 小島悠誠さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



入学前スクーリング 人間生活科学部 管理栄養学科 犬山キャンパス 12/8(土) 名駅サテライトキャンパス 2/9(土) 講演&アップルパイ作りで友だち作りの第1歩!

管理栄養学科では12月、2月に入学前スクーリングを開催しました。12月の入学前スクーリングでは、保育園で管理栄養士として活躍する卒業生による講演の後、ピアサポーターとして参加した在校生と一緒にアップルパイを作りました。皆さん最初は緊張していた様子でしたが、次第に話が弾むようになり、試食をする頃にはとてもにぎやかになりました。終了後は記念撮影をしている様子もみられ、友だち作りの場にもなったようです。

(人間生活科学部 管理栄養学科教授 古市卓也)

Voice 入学前の不安が消えた

入学前スクーリングでは、保育園で行われている食育や、大学での学び方について先輩方からわかりやすく教えていただき、とても良い刺激になりました。先生方も親しみやすく、入学前の不安も消えました。

入学前スクーリングがあったおかげで他の高校の方とも仲良くなれ、入学する日が待ち遠しく、また、4年間の大学生活が楽しみになりました。

人間生活科学部 管理栄養学科1年 霜田未来さん
新潟産業大学附属高等学校(新潟県)出身



インスタ映え! 最強のりんごスイーツ「アップルパイ」を作ってみよう!



青森県りんご対策協議会提供のりんごが見た目も美しい「アップルパイ」に变身

上級生による新入生歓迎会

人間生活科学部 教育保育学科 犬山キャンパス 4/19(金)

仲間との交流を深めた90分間!

「基礎演習I」において新入生歓迎会が開催されました。新入生にこれからの学生生活の見通しを持ってもらうために、上級生が先生のごこと、授業・実習のごこと、大学行事のごことを、学生目線でスライドや実演を通して面白おかしく紹介してくれました。その後のレクリエーション活動でも笑顔があふれる時間を提供してくれました。

上級生が当日までに遅くまで計画や準備をしてくれたおかげで、新入生同士の仲を深める絶好の機会となりました。

(人間生活科学部 教育保育学科准教授 大塚道太)



教員も一緒にレクリエーション活動

先生も参加し楽しい交流に

教育保育学科の新入生集合! 元気いっぱい笑顔



上級生が考えたゲームのタイトルパネルを掲げる新入生たち 最後は上級生、先生とで集合写真! 笑顔があふれる時間でした

Voice 上級生に感謝、本当に楽しい時間でした!

レクリエーションでは、あまり話したことがない人と話すことができ、ゲームを楽しみながら交流ができました。楽しい時間でしたが、それは上級生が、私たち新入生をリードしてくれたおかげだと思います。上級生の温かさにもふれることができ、感謝しかありません。これからも楽しい学生生活を送ることができればと思っています。

人間生活科学部 教育保育学科1年 伊藤瑛麻さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



2018年度 卒業証書・学位記授与式

3月18日(月)、市邨記念体育館にて、名古屋経済大学大学院・名古屋経済大学の卒業証書・学位記授与式が執り行われ、優秀な成績をおさめた学生および、文化活動で顕著な成績をおさめた学生に「学長賞」が授与されました。

佐分学長からは「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学院博士課程5名、修士課程53名、学部生410名、計468名の卒業生を送り出し、この中には留学生97名が含まれ、日本での就職を希望した71名全員が就職できたことをうれしく思います。アジアを中心とした多くの国籍の学生とともに過ごした本学の卒業生は異文化理解ができてきていると思います。このことは、グローバル社会で活躍する大きな財産になると確信しています。是非、世界に目を向けて活躍してください」との言葉が贈られました。

また犬山商工会議所会頭の日比野良太郎氏からも祝辞を頂戴しました。



卒業生代表 三浦由莉さん

学長賞受賞者

【学業成績優秀者】

法学研究科 法学専攻 修士課程
グエン・ティ・ヒエン・アインさん
法学研究科 法学専攻 修士課程
羽田 徹史さん

経済学部
矢郷 正輝さん
経営学部
前田 帆南さん
法学部
寺尾 忠蔵さん

【文化活動において顕著な功績があった学生】

経済学部学生研究室●地域政策チーム
林 祐樹さん
●経済学部学生研究室リーダーとして積極的な地域活動への参加と貢献

経営学部
尾崎 恒紀さん
●在学中に税理士試験の2科目合格(簿記論・財務諸表論)を果たした

人間生活科学研究科 幼児保育学専攻 修士課程
鈴木 伸也さん

人間生活科学部 教育保育学科
金城 李実さん
人間生活科学部 管理栄養学科
片田 友樹さん

法学部
佐野 雅絵さん
●中国政法大学の第1期派遣学生として留学ベトナム・カナダ研修での積極的な交流活動

法学部●ラグビー部
土屋 幸大さん
●ラグビー部初のAリーグ昇格への貢献と協会公認B級レフリーとしての活躍



硬式野球部の卒業生「全員集合!」



女子サッカー部 田中・森田先輩の卒業を祝い「みんな笑顔でピース!」

2018年度「博士号」授与



学長より「博士号」を受け取る人見さん



式を終え記念写真に収まる宮田さん

2018年度は、会計学研究科の5名の院生が栄えある博士号を取得されました。佐藤敏昭研究室で教授の指導のもと研究を重ね、この度の博士論文執筆となりました。博士論文提出後、それぞれに学位論文の審査、試験及び諮問を経て合格され、博士(会計学)の学位を取得されました。

皆さんのさらなるご活躍を期待しています。 ※博士論文題目は以下の記述をご覧ください。

博士(会計学) 【博士論文題目】

- 宮田 伸一氏
「小規模閉鎖会社における計算・開示と会計監査代替機能に関する研究」
- 安齋 眞行氏
「銀行業における非上場株式の評価に関する研究」
- 小森 悠一郎氏
「中小株式会社、持分会社および事業の信託等の会計上の取扱いに関する研究」
- 永田 千香氏
「中堅会社監査役による将来キャッシュ・フロー計算書活用アプローチに関する研究」
- 人見 徹氏
「監査役等と会計監査人との連携における強化アイテムに関する研究」

2018年度 大学顕彰表彰式

4月24日(水)、学業成績優秀者と優れた実績を残した個人、団体に対する「2018年度大学顕彰表彰式」が開催され、佐分学長より祝福の言葉が述べられ、来場者からはあたたかな拍手が送られました。

また、受賞者には1年間のたゆまぬ努力を讃えて奨学金が贈られました。今後も学生たちの一層の活躍を期待しています。



「学業成績優秀者」を受賞し学長より表彰を受ける村瀬さん



「優秀賞」を受賞し表彰を受ける大橋さん

【学業成績優秀者】

経済学部

4年 村瀬 健太さん
鳥居 優一郎さん
安江 大河さん
3年 宋 昕航さん
田村 将紘さん
石田 帆南さん
2年 日比野 佑斗さん
伊藤 亜祐子さん
喬 鶴寧さん

経営学部

4年 ブィ・ティ・フォン・ランさん
鈴木 里佳さん
谷 麗娟さん
3年 大倉 真千子さん
伊藤 大永さん
後藤 拓己さん
2年 黒川 颯太さん
太田 歩希さん
桐山 文菜さん

法学部

4年 今井 鋭之さん
吉田 有輝也さん
田中 宏征さん
3年 池田 拓海さん
那 倩さん
松葉 稜さん
2年 佐藤 綾恵さん
羽二生 公平さん
小島 舞子さん

人間生活科学部 教育保育学科

4年 藤山 拓哉さん
住田 承胤さん
柳川 愛里さん
3年 中村 真太郎さん
西川 佑佳さん
稲垣 沙都さん
2年 宇佐美 歩輝さん
金井 雅斗さん
實井 茉由さん

人間生活科学部 管理栄養学科

4年 享保 翼さん
伊藤 汐理さん
中村 風香さん
3年 久保田 脩人さん
藤井 雅斗さん
山口 慶真さん
2年 丹羽 祐太さん
林 日愛さん
山本 将真さん

【学術・文化に優れた実績を残した団体】

優秀賞●「創作沖縄居酒屋ちゃんぶる」
人間生活科学部 管理栄養学科4年 前川 尚農さん
人間生活科学部 教育保育学科3年 石垣 風海さん
経営学部3年 前代 賢太さん
沖縄出身の学生たちが、アルバイト先のオーナーの支援と協力を得て、犬山駅前「創作沖縄居酒屋ちゃんぶる」を開店「社会人基礎力育成グランプリ」において中部地区大会最優秀賞を受賞、全国決勝大会への出場など、高い評価を受ける

奨励賞●ラグビー部

2018年度東海学生ラグビーBリーグにおいて「7勝0敗」の全勝優勝入替戦に勝利し、ラグビー部創部以来初となるAリーグへの昇格 今後一層の活躍が期待されている

「奨励賞」を受賞したラグビー部2019年度主将の大野さん(右)と副主将の太田さん(左)

【学術・文化に優れた実績を残した個人】

優秀賞
●法学部4年 大橋 璃菜さん 大橋 瑠菜さん
女子バスケットボール部の中心メンバーとして、インカレ出場に貢献し、部活動・学業ともに、他の学生の模範となる行動が認められる
●人間生活科学部 教育保育学科3年 森 美月さん
「THE DANCE WORLDS 2018(チャリティーダンスとダンスの世界大会)」ジャズダンス団体の部日本代表として出場し、4位入賞を果たす
●法学部2年 八木 春香さん
優秀な成績を修め、リーダーシップを発揮してゼミ活動に貢献するなど、他の学生の模範となる行動が認められる

全国保育士養成協議会「会長賞」

全国保育士養成協議会は、保育士養成校を会員とする団体で、毎年、その教育課程の成績が特に優れ、保育士として就職が決定した学生に協会より「会長賞」が授与されます。

2018年度は、教育保育学科の千保星夏さん(小牧市役所・保育職勤務、富山県立南砺福野高等学校出身)が「会長賞」を受賞しました。



受賞された千保さん(左)と学科主任の多川教授(右)

卒業式後に場所を移して開催された卒業パーティー(名古屋クレストンホテル)において多川教授より表彰を受け、同級生からの祝福にも笑顔で応えていました。

全国栄養士養成施設協会「会長賞」 日本フードスペシャリスト協会「会長賞」

管理栄養学科では、卒業とともに栄養士免許が取得できます。また、試験に合格することでフードスペシャリストの資格も取得できます。優秀な成績を修めた学生には協会より会長賞が授与され、2018年度は、栄養士養成施設協会からは黒澤砂代さん(犬山市立今井・栗栖小学校学校栄養職員勤務、同朋高等学校出身)が、フードスペシャリスト協会からは、堀口祐弥さん(社会福祉法人信和会キッズハウス浜町公園勤務)



3つの賞状を手に笑顔の堀口さん 黒澤さん会長賞に選ばれ最高の笑顔

が選出表彰されました。当日受賞を知らされ驚きながらも互いの健闘を称えあい笑顔で写真に収まりました。

学生目線での発想を地域へ提案「犬山市長と語ろう！」

1月16日(火)、犬山国際観光センターフロイデにて「犬山市長と語ろう！」を開催しました。この企画は犬山市をより良くするために、学生たちが学生目線で気づいた点を発表する場として開催しています。体験型プロジェクト「犬山創業」は留学生から観光の目玉に「スーパーカー」イベントで盛り上げようなど、ユニークな発表もあり、7団体・総勢16名の学生がプレゼンテーションを行いました。山田拓郎犬山市長や市職員、関連団体の皆さま方にもご出席いただき、



体験型プロジェクト「犬山創業」のプレゼンテーション

市長からはプレゼンテーションに対する講評をいただきました。

今後もこのような実践的な学びの場を学生に提供していきたいと思っております。



市長からの講評

- 1. 運動・食事習慣の骨密度と動脈硬化への影響**
～犬山市民のデータ採取から見えてきたもの～
- 2. 起業を目指す若者に向けた支援のご協力について**
～学生創作沖縄居酒屋「ちゃんぶる」経営の体験から～
- 3. 城下町の発展につながる提案**
～城下町をさらに魅力ある観光スポットとするために～
- 4. ニュースポーツを通じて**
～暮らしたいまちにするために「ウォーキングとゴミ拾い」のコラボ企画～
- 5. 体験型プロジェクト『犬山創業』**
①犬山の新たな観光目玉「スーパーカー」イベント
②犬山城下町周辺地域から名鉄沿線につながる観光スポット企画
- 6. 環境にやさしい活動を広めよう!!『ウォームシェア・クールシェア』**
～かがやけ☆あいちサステイナ研究所 研究者としての活動をもとに～

留学生提案

伝統の「犬山祭」学生たちの参加で盛り上がる!

4月6日(土)・7日(日)の両日に開催された2019年「犬山祭」では、本学の学生たちの活躍が目覚ましいものがありました。

犬山祭の本部には犬山観光学生大使が交代で、祭の案内や観光客への対応をしました。7代目になる観光学生大使、今年はユニフォームも一新されさわやかな笑顔とともに祭に花を添えました。また、城下町の一角では、NPO法人ぼんぼこネットワークの子どもたちと管理栄養学科 山田ゼミがコラボレーション。季節に合わせオリジナルの「さくらロールケーキ」を子どもたちと一緒に調理し抹茶とともに販売したところ、予想以上のスピードで完売。昨年に続き犬山市友好都市物産展の石垣市のコーナーでは、経営学部2年生の大浜寛敬さん(石垣市出身)が石垣市商工会の方と特産品の販売や島のPRに努めました。そして、歩き疲れた観光客のためにと沖縄県人会の学生が運営する創作沖縄居酒屋「ちゃんぶる」は、犬山祭の期間中は昼間も営業。揚げたてのもずく天ぷらやサターアランダギーなどの沖縄郷土料理を販売し昼間も夜も大盛況でした。



創作沖縄居酒屋「ちゃんぶる」が犬山祭に初出店



山田ゼミが考案した「さくらロールケーキ」と抹茶



石垣市の物産品と観光をPRする大浜さん(右)

「いぬやまランニングフェスティバル2019」を本学学生がボランティアとしてサポート

2月10日(日)、「いぬやまランニングフェスティバル2019」が開催されました。犬山城下町をコースに、仮装で走ろう!1km(ファンランの部)と、楽しく走ろう!3km(シティマラソンの部)の2コースが設けられ、当日は1,800人を超えるランナーが、青空が広がる城下町を思い思いに駆け抜け、心地よい汗を流しました。本学の女子バスケットボール部(36名)と教育保育学科の学生(4名)はボランティアとして、早朝から若さあふれる笑顔で大会運営をサポートしました。



完走者に笑顔とドリンクをプレゼント



記念に配布された「入場チケット」を手に国宝犬山城をバックに記念の1枚

「犬山の学校給食を考えよう」で学生たち考案の「鉄分の多い献立」試食会

栄養教諭を目指す管理栄養学科の2年生が考案した「鉄分の多い献立」が犬山市内の小・中学校で実施されました。

2月12日(火)、犬山中学校で「ごはん・牛乳・沖縄風天ぷら・クープイリチー※・豆乳味噌汁」を2年生の生徒とともに会食しました。鉄分が豊富な青のりや豚肉を使った沖縄料理は生徒たちにとっては、初めて味わう料理のようでしたが大好評でした。また、会食前には、学生が献立の紹介と「鉄分」について栄養指導を行いました。

※沖縄の郷土料理で「クープ=昆布」「イリチー=炒め物」の意味。食物繊維とミネラルたっぷり。

翌13日(水)には、犬山西小学校の2年生・5年生の児童と「レズンロール・牛乳・とりにくのトマト煮・ほうれんそうと豆のスープ・いよかん」の給食体験をしました。とりにくのトマト煮は鉄分が豊富で、とりレバーを使いカボチャやブロッコリーとともにカレー風味に仕上げました。子どもたちからは、「パンとの相性がいいな」「レシピ教えて」などと、うれしい感想をたくさん聞くことができました。

メインはクープイリチー

今日の献立には「鉄分」がいっぱい!メカジキ・昆布・豚肉・青のり・豆乳・大豆に「鉄分」が豊富。いろいろな食材を組み合わせた給食になりました。



犬山中学校「ランチルーム」での会食の前に献立の紹介と「鉄分」について解説をする学生

会食を終え、「自分たちが考えた献立が栄養教諭・学校栄養職員の先生方のご協力により、実際の学校給食で体験できたこと、直に子どもたちの反応を知ることができ、素晴らしい体験ができたことに感謝しています」と、学校の皆さんに学生から感謝の気持ちを伝える挨拶をさせていただきました。(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



犬山西小学校の児童とともに楽しく会食をする阿部さん(真ん中)

メインはとりにくのトマト煮

「鉄分」豊富なとりレバーにカボチャとブロッコリーを加えてカレー風味で美味しく召し上がれ。



Voice 「おいしい!」笑顔とたくさん出会えた

栄養教諭を目指す5名が検討を重ねた今回の献立。小学校の試食会のメニューは、鉄分豊富なとりレバーを素材に選んだ私の献立「とりにくのトマト煮」に決定。臭みが気にならないか心配でしたが、管理栄養士の先生の「油で揚げると」というアドバイスでクリア。「おいしい!」と、笑顔の子どもたちと貴重な経験ができました。人間生活科学部 管理栄養学科3年 阿部芳美さん 愛知啓成高等学校(愛知県)出身



犬山市健康づくり推進協議会の研修会で「ミニ講義」と健康体操を実施

2月27日(水)、犬山市民健康館にて犬山市健康づくり推進協議会が開催され、管理栄養学科の学生が実践発表を行いました。

管理栄養学科3年では、管理栄養士としての実践力を高めることを目的に「栄養教育論実習Ⅱ」において模擬栄養教育の実践発表を行っています。今回、高齢者を対象とした「運動をしながらコミュニケーションをとろう」をテーマに取り組んだ学生たちの成果を犬山市健康づくり



タオルを使って「簡単・健康体操」

研修会において発表をさせていただく機会を得ました。発表の前半では低栄養に関するミニ講義を、後半にはボールやタオルを使った健康体操を体験していただきました。学生たちが自ら考えた栄養教育を市民の皆さんに提供できたことは、目標である管理栄養士としての役割を実感できる貴重な体験学習になりました。(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



ミニ講義の様子

扶桑町「子育ておうえん講座」で地域の子育て世代を人間生活科学部がサポート

子育てや子どもとのふれあいの悩みを解決する一助として、人間生活科学部の教員と学生が中心となり扶桑町教育委員会・扶桑町主催による全4回にわたる「子育ておうえん講座」を今年も実施しました。

第1回と2回は、管理栄養学科 持丸由香准教授による「親子でクリスマスケーキを作ろう!!」と、講義「朝食の大切さ」。忙しい朝食作りでもかきさける「時短料理のコツ」を伝え、手軽にできて栄養価も高い「トマトスムージー」の試飲など、「食」を通じて子育てをより豊かにするヒントをお伝えすることができました。

第2回



第3回は、教育保育学科 多川則子教授による「子どもの安全基地になるために」と題して、日頃の子どもの関わりについてグループワークでの意見交換や子育てを振り返る機会を提供するとともに子育てのエッセンスをお伝えし、それぞれの気づきを発表していただきました。「託児ボランティア」では未就学児を学生がお世話しました。

第4回は、教育保育学科 長江美津子特任教授と学生による、楽しさが伝わる親子でふれあう「遊び」の講座「楽しもう!作ってみよう!踊ってみよう!」。手遊び、パネルシアター「森のクリスマス」、ミニ講義とペットボトルでマラカスを作りみんなでクリスマスソングを歌ったり踊ったり、笑顔にあふれた楽しい時間になりました。

第3回



第4回

ミニ講義
「絵から学ぶ子どもの深層心理」

第4回

オープニングの「手遊び」

大口町と連携活動「憩いの四季・図書館まつり」
「みんなで遊ぼう お話の会」

憩いの四季・大口町図書館主催の「憩いの四季・図書館まつり」が開催されました。この催しは大口町図書館の「子どもの読書推進事業」として本学が依頼を受け、2月2日(土) 児童文化サークル「いろは」と教育保育学科1年生*が、カレーライスのうたのパネルシアターやアンパンマンの手遊び、「ぐりとぐら」の読み聞かせにクイズを交え、最後の「ようかい体操」では会場が一体となり、集まった子どもたちと楽しいひと時を過ごすことができました。



「ぐりとぐら」の読み聞かせに挑戦



「カレーライスのうたのパネルシアター」に引き込まれる子どもたちの様子に手応えを感じる1年生(※開催当時)

Voice

経験を重ね学びの幅を広げたい

役割を分担して行った、「親子でクリスマスケーキを作ろう!!」は参加した親子に大好評でした。講座当日は、保護者の方への言葉づかいや小さな子どもとの接し方、包丁やガスの扱いなど周囲への目配りや気遣いなどで苦労することはありましたが、大きく膨らんだスポンジケーキや泡立ったクリームを見た子どもたちの楽しそうな笑顔と「おいしい!」の声にとっても感動しました。今後もこのようなイベントに積極的に参加し、経験を重ね成長していけたらと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 竹内菜衣さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

第1回



Voice

現場での対応力とコミュニケーション作りの大切さを学ぶ

クリスマス直前のこの時期、季節に親しみを持ってもらおうと「サンタマラカス作り」や「リズム遊び」などを行いました。子どもたちに「楽しい!」と感じてもらうことを目標にゼミ仲間と話し合い、準備を重ねました。当日はパネルシアターを見たり、踊ったり、保護者と一緒に笑顔で手遊びや製作をする姿がとても印象的でした。今回の活動を通して、臨機応変な対応や行動、また、積極的なコミュニケーション作りの大切さを学ぶことができました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 内田侑希さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

第4回



- 11/28 親子でクリスマスケーキを作ろう!
- 12/5 朝食の大切さ
- 12/8 子どもの安全基地になるために
- 12/22 親子ふれあひあそび
楽しもう!作ってみよう!踊ってみよう!

宝交通株式会社との産学連携によるプロジェクト型学習
タクシー業界の発展に向けた共同調査・研究

大曾ゼミ・山下ゼミでは、2018年度後期3年次ゼミナールにおいて、宝交通株式会社にご支援いただき、産学連携によるプロジェクト型学習に取り組みました。キックオフミーティング、タクシー研修などを通じて、タクシー業界の現状や企業の取り組みを学び、企業の抱える課題解決に向けた学生視点のアイデアを検討しました。

Voice

社会で役立つ貴重な経験

私はこのプロジェクトに携わり、とても貴重な体験ができました。企業の問題点を改善するためのアンケートを取り、解決案を考え、発表資料を作成して企業を訪問し、役員・従業員の方々の前で発表するという一連の作業はとても大変でした。しかしそこから得たものは多く、特にアンケートの集計方法はなかなか学べないことなので、学べてとてもよかったですと感じています。

今回のプロジェクトは、今後社会に出てからも必ず役に立つとても良い経験になりました。

経営学部4年 橋本壮矢さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



最終報告会(宝交通株式会社 本社)

そして、宝交通株式会社本社にて最終報告会を開催し、学生は30名を超える従業員の方々の前で報告しました。こうした取り組みを通じて、日頃、講義で学ぶ経営学の知識を活用するプロセスを学んでいます。(経営学部准教授 大曾暢烈・山下幸裕)



若手社員の方々によるタクシー研修(本学)

地域企業・団体の環境テーマを研究「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」での研究成果

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」とは、グローバルな視点でエコアクションを実施することができる未来の担い手となる大学生を育成しようと、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業・団体から提示される環境課題に対し、現場調査や企業・団体の担当者とのディスカッションを重ね、半年間をかけてまとめ上げた解決策をプレゼンテーションする「成果発表会2018」が12月2日(日)、名古屋市立大学で開催されました。本発表会には、経営学部4年*の坪井真実子さんと、鈴木里佳さんが研究員として参加し、若者らしく情熱あふれる発表で、報告会を盛り上げました。*活動期間中は3年



チームリーダー坪井さんの報告(左端)



研究成果を報告する鈴木さん(左から3番目)

課題

JAグループ愛知
若者が農業の環境保全機能を実感し、農業応援団となるPR方策を検討せよ!

知って(SNSで農業を知ろう)、感じて(学生交流会で恋も野菜も実らせよう)買って(寄付キャンペーンで農業支援)、若者が環境保全機能を実感し農業応援団として、愛知の農業を盛り上げる!

Voice

他人ごとから「わがこと」に

当初は「私も発表したい」という気持ちだけでしたが、開所式での中日新聞社論説委員 飯尾歩氏の講演で「リオ・環境サミットで12歳の少女が語った伝説のスピーチ」のメッセージを聞いた瞬間、サスティナに参加する意義と、参加できることの喜びを感じました。活動を終えた今は、「SDGsへの理解をさらに深め、自らが行動を起こしていこう」という気持ちでいっぱいです。 経営学部4年 坪井真実子さん 石川県立鹿西高等学校出身



課題

新日鐵住金 ※2019年4月より「日本製鉄」へ社名変更
LCAの視点による鉄の環境へのやさしさについて広く普及する方策を検討せよ!

見学者をターゲットとした「クロスワードパズルで学ぶ!」鉄の環境優位性を遊びながらわかりやすく伝える持続可能な社会につながる鉄とLCA

Voice

環境意識を深める旅へとつながる

スタート時から見学者向けの「クロスワードパズル」にたどり着くまで多くの時間を費やしましたが、タテ・ヨコのワードを組み立て楽しく学び、さらに動画でLCA(ライフサイクルアセスメント)と鉄の可能性をわかりやすく紹介することができました。また、各メンバーが得意分野を生かして臨んだプレゼンテーションもまずまずのできて、環境問題への関心の高まりが、ベトナム・カンボジアへの旅につながりました。 経営学部4年 鈴木里佳さん くらーク記念国際高等学校(岐阜県)出身



*SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193ヶ国が2016年から15年間で達成するために掲げた17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

女子バスケットボール部



西日本学生バスケットボール選手権大会「準優勝」を喜ぶ

敢闘賞 大橋瑠菜さん 法学部4年 岐阜女子高等学校(岐阜県)出身
優秀選手賞 成田めぐみさん 人間生活科学部 教育保育学科3年 和歌山信愛高等学校(和歌山県)出身

犬山市スポーツ賞「優秀賞」受賞

6月15日(土)、昨年「第70回全日本大学バスケットボール選手権大会(ベスト16)」の出場を評価いただき、平成30年度犬山市スポーツ賞の優秀賞を受賞しました。今年も昨年以上の成績が残せるよう、チーム全員でさらなる努力をしていきたいと思っております。



山田犬山市長と「優秀賞」受賞の記念撮影

女子第68回西日本学生バスケットボール選手権大会「準優勝」
第57回東海学生バスケットボールトーナメント「準優勝」

テニス部



左から横井さん、大原さん、小栗さん、足立さん、成田さん

全日本学生テニス選手権大会(インカレ)出場決定!

強化指定クラブとして4年目、東海学生春季テニストーナメントを戦い、女子5名が全日本学生テニス選手権大会(インカレ)出場を決めました。

シングルス ● 成田園子さん 人間生活科学部 教育保育学科2年 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身
足立有香さん 人間生活科学部 管理栄養学科2年 沖繩尚学高等学校(沖縄県)出身
小栗杏香さん 法学部3年 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身
ダブルス ● 足立さん・成田さんペア 大原世梨奈さん・横井南海さんペア
法学部3年・法学部1年 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



成田さんはインカレシングルス・ダブルス共に本戦から出場!

2019年 東海学生春季テニストーナメント
シングルスベスト4(3位) ダブルスベスト4(3位)

シングルス ● 成田園子さん ダブルス ● 足立さん・成田さんペア

ラグビー部



第27回東海学生7人制ラグビー大会 4位入賞

4月に開催された「第27回東海学生7人制大会」で4位に入賞しました。1回戦で静岡大学に勝利、準々決勝で愛知学院大学との接戦に勝利し、ベスト4に進出。準決勝で中京大学と対戦し敗れるも、3位決定戦で昨年の優勝大学、朝日大学と対戦。前半までは接戦を繰り広げましたが、残念ながら敗戦しました。「4位」入賞は、本学の過去最高成績であり、部員・スタッフにとって、大きな自信となり、秋の15人制のリーグ戦に向けて弾みをつけることができました。

剣道部



祝迫さん(左)、上さん(右)

第67回全日本学生剣道選手権大会出場

祝迫佑紀さん 法学部4年 鹿児島県立錦江湾高等学校出身
上瀬太郎さん 法学部3年 鹿児島県立鹿兒島商業高等学校出身

男子バスケットボール部



第57回東海学生バスケットボールトーナメント3位

硬式野球部



愛知大学野球2部Aリーグ

男子サッカー部



東海学生サッカーリーグ1部リーグ

女子サッカー部



東海女子サッカーリーグ2部

おいしい・嬉しい・楽しい! 管理栄養学科の「こども食堂」ボランティア活動

豊山町のまちづくりを応援する「とよやま まちサボ!」が主催となり、子育て中の親子が集まり楽しんで食事ができるよう2か月に1度「にじいろ食堂」というこども食堂を開催しています。

3月24(日)、豊山町社会教育センターで行われた「にじいろ食堂」に管理



栄養学科4年※の3名がボランティアとして地域の方と連携し、初めてこども食堂に参加しました。参加人数は60名の親子で、当日のメニューは、焼き込みご飯・唐揚げ・豚汁・ほうれん草の白和え・ゼリーを作成し、子どもたちとの交流を楽しみました。※活動時は3年(人間生活科学部 管理栄養学科教授 柴田清)

Voice 「豊山にじいろ食堂」こども食堂初体験

今回初めて豊山町「にじいろ食堂(こども食堂)」に参加させていただき、初めは子どもたちに食事を提供するだけで終わりたい



思っていました、実際は地域の方と連携を取るなど、考えていたイメージとは異なり興味深い体験になりました。次回も参加の機会をいただければ、さまざまなことを学びたいと思いました。人間生活科学部 管理栄養学科4年 竹内皆人さん 愛知県立犬山南高等学校出身



「おいしい」の声に「ありがとう」と笑顔で答える!

受付で一人ひとりに献立の解説と案内をする松村さん(左)と享保さん(右)

第33回管理栄養士国家試験
2019年合格率「88.7%」2年連続の上昇!

管理栄養士国家試験(3月3日実施)の合格発表が3月29日(金)に行われ、本学管理栄養学科の合格率は88.7%(合格者数47名/受験者数53名)で全国平均合格率60.4%を大きく上回り、2年連続で上昇しています。今後も、学科教員が一丸となり、きめ細やかなサポートを充実させて参ります。

ココがPoint / 2017年度 国家試験体制の大幅な刷新!

1. 学生がいつでも自由に使える「国試対策室」
教員・助手・上級生のピアサポーターが常駐いつでも疑問・質問に対応。
2. 習熟度に応じた「フォローアップ・ステップアップ講座」
一人ひとりに向けた丁寧な指導と個別指導との相乗効果を力をつける。
3. 学内での「長期休暇期間中のフォロー」
実践力を鍛える勉強会や補習のほか、学内での強化実習を実施。

「MOS世界学生大会2019」
各部門入賞者が決定、本学から7名が入賞果たす!

MOS世界学生大会2019は、MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)を通して、社会人として必要なスキルを身につけ、卒業後に国際的な活躍ができる人材育成を目的として開催される世界規模のパソコン大会です。

日本全国から延べ71,000人を超える学生のエントリーがあり、1次選考の結果各部門・アプリケーション部門の入賞者が発表され、本学からはWord 3名、PowerPoint 4名の計7名が入賞。6月21日(金)東京国際フォーラムで開催された入賞者表彰式に出席しました。

本学ではMOSの学習を推進しており、教育体系に組み込むとともに、学内の情報センターに受験会場を常設して、学生が適宜受験できる環境を整えています。



入賞者表彰式に出席した左から五味さん、川崎さん、丹羽さん、加藤さん

Voice スピーチから伝わる世界大会への思い

この度、こうして表彰いただけたことを大変光栄に思います。壇上で受け取った表彰状から感じる入賞の重みもさることながら、それ以上に感銘を受けたのは、今回日本代表に選出された方々のスピーチと、かつて日本代表として世界大会に出場された方々からのメッセージです。皆さんがこの世界大会に懸ける熱意が伝わり、自分自身への大きな刺激になりました。



経営学部3年 加藤綺子さん 愛知県立小牧南高等学校出身

MOS世界大会2019 部門別入賞者

Word	経済学部2年	川崎 遼さん
	経済学部 2019年3月卒業	五味 穂就さん
	人間生活科学部 管理栄養学科2年	丹羽 祐太さん
PowerPoint	経済学部2年	永井 伶奈さん
	経済学部3年	丹羽 俊文さん
	経営学部3年	加藤 綺子さん
	法学部3年	山下 麗奈さん

第4回ベトナム学生派遣研修2018から無事に帰国！
研修報告会での動画や写真を駆使したプレゼンテーション

学生のオープンマインドを育て、新しいことに挑戦する精神を涵養することを目標にした名経大グローバル人材プロジェクトの一環として「第4回ベトナム学生派遣研修2018」が2月25日(月)～3月7日(木)に行われました。参加者も16名にのぼり、ハノイ・ホーチミンの両市でのホームステイ、企業見学、現地学生との交流などが実施されました。

5月8日(水)には執行部をはじめ、引率教職員、ゼミナールの担当教員や海外研修に興味・関心のある学生・留学生など20名を超える参加者に向け、個別にプレゼンテーションを行いました。現地の状況報告を動画や写真を駆使して報告するなど大変興味深い「報告会」になりました。

ベトナム
学生派遣研修
報告会



スマホを使った動画や写真のプレゼンは「わかりやすい」と、大盛況



ノートルダム大聖堂(ホーチミン)をバックに



「APEX」企業見学

文化交流イベント「ベトナムフェスティバル2019 in 愛知」が開催され
本学のベトナム人留学生が司会者として活躍

4月12日(金)～14日(日)、名古屋市中区栄の久屋大通公園 エディオン久屋広場で開催されたベトナムと日本との文化交流イベント「ベトナムフェスティバル2019 in 愛知」は、ベトナムの料理や雑貨など70ものブースが出演。ステージではベトナムの伝統楽器の演奏やベトナムの人気歌手が来場しました。このステージの司会を務めたのは本学で学ぶベトナム人留学生の



真紅のアオザイを着こなしステージの司会進行を務めるグエンさん(右)

ハノイで発掘された遺跡群
ユネスコの世界遺産「タンロン遺跡」を訪問



ハノイ大学の学生と「ジェスチャーゲーム」で交流



学問の象徴ベトナム最古の大学跡「文廟」(ハノイ)

Voice 現地の人との交流で世界がより身近に

ベトナムには、食品のアレルギ表示がなく、アレルギーに対する考え方の違いには驚きました。そんな中訪問した桜モンテッソーリ子どもの家(幼稚園)では、日本人の管理栄養士の方からお話を伺うことができ、海外で頑張っている日本人を間近に見て、海外をより身近に感じることができました。また、現地の人とふれあひ、互いの文化を学びあうことで日本の良いところを再発見することができました。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 土屋美稀さん
啓明学館高等学校(愛知県)出身



ウミリデノブ・アリシエル准教授がウズベキスタンの全国賞“Oltin Qalam”を受賞

5月3日(金)、法学部のウミリデノブ・アリシエル准教授が、「ウズベキスタンの対外貿易政策の発展に関する最高の記事」で優勝し、ウズベキスタンの第14回全国賞「Oltin Qalam」(ゴールデンペンシル)を受賞しました。今年は、518名のジャーナリストがコンペティションに参加し、約6,700点のクリエイティブ作品が出品されました。このメディアコンテストは、過去何年にもわたり、約6,500名のジャーナリストが参加していることから、最も権威のある全国的なメディアコンテストとされています。

当日は「世界報道自由デー」を記念し、XIV国家賞「Oltin Qalam」の優勝者と受賞者を祝福するための祝賀会がターキストン宮殿で執り行われました。また、受賞者は、中央アジア(ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス・タジキスタン・トルクメニスタン)5カ国のジャーナリストと共に、ベルギーのブリュッセルへのプレスツアーにも参加しました。



ウミリデノブ・アリシエル准教授

ウズベキスタンの大学と学術交流協定締結 & 国立大学と高等専門学校訪問

昨年11月6日(火)、末岡仁理事長が法学部のウミリデノブ・アリシエル准教授、早川結人准教授、国際交流室職員らを伴って、ウズベキスタンのタシケント国立法科大学・タシケント国立経済大学を訪問。学術交流・交流促進のための学術交流協定を締結しました。

さらに7日(水)には、ウルゲンチ国立大学・ウルゲンチ経済高等専門学校を相次いで表敬訪問し、未来へ向けた情報交換・共有を行い、ウズベキスタンとのさらなる交流促進へ向けた学生・生徒の交流の場にも臨みました。一行は、新たに設置された日本語センターの見学にも同行しました。



ウルゲンチ国立大学を見学



タシケント国立法科大学と学術交流協定を締結



現地学生との交流会(タシケント国立経済大学)

ウルゲンチ経済高等専門学校での歓迎セレモニー

日本とウズベキスタンの架け橋に、先輩留学生と後輩の心温まる共同生活

日本・アジアで活躍する人材を育成する名経大では、14の国と地域から現在450名を超える留学生が来日し、学んでいます。

中央アジアのウズベキスタンからは、13名の留学生が犬山・小牧・名古屋市など大学周辺で暮らしています。なかでも経営学部のミルジャロルさんとミルホジッディンさんたちは4人で3LDKのマンションの一室をシェアし、日本での留学生活を楽しんでいます。

食事も就寝時間、掃除などのルールを守りながら、毎日のようにコミュニケーションルーム(リビング)に集まって自分が学んだことを伝え学び合う、コミュニティのような共同生活を送っているため、ホームシックの心配もまったくありません。



Voice ステキな日本を後輩に伝えたい

日本のサッカーチームとの出会いがきっかけで、「憧れの日本で学びたい」と決意し来日。ゼロから日本語を学ぶうちに本学の存在を知り、入学が決まりました。

大学フェアへの参加を機に、紹介ビデオの作成にも挑戦。「自ら学んだことは惜しみなく他人に伝える!」そんな思いではじまった共同生活。今や興味は世界に広がり、驚きや感動を伝える仕事をするため、旅行代理店でもアルバイトをしています。

経営学部3年 メングボエフ・ミルジャロルさん ウズベキスタン人留学生



Voice いつも先輩方に支えられて

先輩方には入学試験前から、受験勉強・面接・生活面で支えてもらい、現在先輩3人と共同生活を送っています。先輩方の助けがなければ、本学への入学はかなわなかったと感謝しています。

先輩方が立ち上げた留学生のサッカーサークルで一緒に汗を流し、寝起きを共にする毎日。時には壁にぶつかることもありますが、親身になって相談に乗ってくれます。どんなことにも積極的で頼もしい先輩方から勇気をもらっています。



経営学部1年 ダダボエフ・ミルホジッディンさん ウズベキスタン人留学生



ベトナムの伝統的な葉笠「ノンラー」をかぶって

グエン・ティ・ハーさん。彼女は、在日ベトナム青年学生東海支部*の副代表として、東海地方に住むベトナム青年学生の団結・連携を強くしようと、このようなイベントなどに積極的に参加し、幅広い活動を行っています。

*Vietnamese Youth and Student Association in Tokai, Japan: VYSA-TOKAI



オープニングに続き2度目の来場で挨拶をする大村愛知県知事(右)

人生100年時代の「社会人基礎力育成グランプリ」中部地区代表として決勝大会出場

2月19日(火)、沖縄県出身の学生を中心としたメンバーが人生100年時代の「社会人基礎力育成グランプリ」全国決勝大会に出場しました。

彼らは、2018年7月に犬山駅前に「創作沖縄居酒屋ちゃんぶる」を開店。準備段階や開店後にも数々の問題に直面し、それらを解決していく中で社



全国決勝大会(東京・拓殖大学)プレゼンテーション

会人として必要なさまざまな力を身につけました。この経験をもとに中部地区大会では「最優秀賞」を受賞し、全国決勝大会へ出場しました。

Voice 沖縄料理で地域の活性化を目指す

自分たちが自発的に始めた「創作沖縄居酒屋ちゃんぶる」の活動を評価していただき、また多くの方に応援していただけたことに感謝しています。今回の経験を通して、自分たちの考えを相手に伝える力を鍛えることができました。一連の活動で得た行動力と伝達力をさらに伸ばし、今後の就職活動やその先にある社会人としての生活に向け努力していこうと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 前川尚農さん
沖縄尚学高等学校(沖縄県)出身



決勝大会での賞は逃しましたが、参加した学生には、身につけた社会人基礎力を社会人応用力へ転換していく絶好の機会になりました。

「ブライイチ in 犬山」でいつもと違う犬山を発見！
体験型プロジェクト受講生とともに ～お城だけじゃない！犬山の横顔を堪能～

3月2日(土)、愛知県・犬山市共催「ブライイチ in 犬山 ～お城だけじゃない いつもと違う犬山～」において本学の犬山学研究センターが協力機関として、木曾川河畔で「木曾川の河畔に突き出た石の正体は？」の説明ポイントの運営を担当しました。足立守客員教授と体験型プロジェクト(犬山学講座 犬山の地質)受講生からの説明や実際に約1億7千万年のチャートを手で覗き、ジュラ紀の放射虫化石を見ることで世界的にも有名な犬山の地層にふれる体験をしていただきました。天気にも恵まれ約750名の参加者には、いつもと違った「犬山のまち歩き」を楽しんでいただくことができました。



放射虫を含んだ石を観察する子どもたち



解説シートをカメラに取る参加者



犬山城を臨む絶景「七つ岩ポイント」(担当:犬山学研究センター)

名古屋経済大学連携講座
「心を整えるマインドフルネス講座」でストレスを解消し、集中力を高める

5月18日(土)、小牧市公民館にて「名古屋経済大学連携講座」(連携先:一般財団法人 こまき市民文化財団)の一貫として、「心を整えるマインドフルネス講座」を実施しました。近年、仏教から派生したマインドフルネス(意図的に、今この瞬間に、評価せずに、あるがままの状況に対して注意を向けることで得られる気づき)は、ビジネス、スポーツ、医療の現場でさまざまに活用されています。今回の講座ではまず、うつ病の症状などについて理解を深めました。その後、うつ病再発予防に効果が期待される心理療法である「マインドフルネス認知療法」について解説しました。

講座の最後には、実際の医療現場でも行われているマインドフルネス瞑想を体験しました。



(人間生活科学部 教育保育学科教授 家接哲次)

マインドフルネス認知療法について解説する家接教授



「うつ病」の主な診断基準や症状、特徴などについて解説

地域再生のための産官学連携の研究ネットワーク『犬山学ネットワーク』発足記念講演会と犬山学ネットワーク情報交換会を開催

犬山学研究センターは、犬山の豊富な地域資源(歴史・自然・産業)を研究し、体系的な犬山学として構築するとともに、地域の研究機関・NPO・企業などの14機関と協力し「犬山学ネットワーク」を発足させました。この発足を記念して12月4日(火)、名鉄犬山ホテルにて「犬山学ネットワーク発足記念講演会」を開催いたしました。講師には、公益財団法人徳川黎明会 徳川林政史研究所所長 竹内誠氏をお迎えし、「犬山学に期待する—江戸東京学の体験から—」をテーマとし、ご自身の豊富な経験を基に、「地域学」の学際的意義や広がり・深み、研究成果を社会に還元することで地域の活性化やハード・ソフトの両面からまちづくりに寄与できることなどに触れていただき、これからの「犬山学」の展開への期待をお話いただきました。

会場には、犬山学ネットワーク構成団体の皆さまのほか、行政・経済界・学術研究機関・市民団体・企業や一般市民のも含め約100名の参加をいただき、情報交換会も合わせ盛況のうちに終えることができました。



竹内誠氏の講演

公益財団法人徳川黎明会 徳川林政史研究所所長 ● 竹内 誠氏

「犬山学に期待する—江戸東京学の体験から—」

犬山学ネットワーク締結機関

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 愛知文教大学 | 徳川美術館 |
| 犬山里山学研究所 | 徳川林政史研究所 |
| 犬山城白帝文庫 | 名古屋大学博物館 |
| 岩田洗心館 | 名古屋大学大学院 環境学研究所附属 地震火山研究センター |
| 京都大学霊長類研究所 | 日本モンキーセンター |
| 古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク | 博物館明治村 |
| 東京大学大学院 農学生命科学研究科附属 演習林生態水文学研究所 | 野外民族博物館リトルワールド |

犬山市民総合大学敬道館と連携企画
名古屋経済大学オープンカレッジ2019 開催のお知らせ

名古屋経済大学オープンカレッジ ● 本学7号館(7E2教室)
問い合わせ先 ● 犬山学研究センター TEL 0568-68-3282

「～知を営む～ 名経で再発見！」をテーマに、新しい分野へのチャレンジやシニアの学び直しをサポートする「名古屋経済大学オープンカレッジ」は、本学と犬山市民総合大学敬道館との連携事業として「地域に親しまれる大学づくり」を目指し、魅力ある講座をさまざまな分野で開催いたします。

第3回 犬山の地質 犬山学
10月19日(土) 10:00~11:30 ● 犬山学研究センター 客員教授 足立 守
世界的にも有名な、犬山の中生代のチャートや泥岩に含まれる放射虫化石を中心に、犬山の地球史を解説します。

第1回 ストレスと上手につき合おう 健康
10月12日(土) 10:00~11:30 ● 経済学部講師 野副 紫をん (臨床心理士・公認心理師)
ストレスを和らげるリラクゼーション法を体験し、ストレス社会に備えます。

第4回 労働CSR序説 ～持続可能な働き方を目指して～ 仕事
11月16日(土) 10:00~11:30 ● 経営学部准教授 矢野 良太
労働に関する社会問題が多発する中、労働CSRは問題解決の助けとなるのか、これからの働き方はどうあるべきかを考えます。

第2回 相続の基本 ～相続を争族にしないために～ 法律
10月13日(日) 10:00~11:30 ● 法学部准教授 濱口 弘太郎
2019年から2020年にかけて、相続に関する法律が変わります。相続の基本について勉強します。

第5回 犬山の健康づくりと子どもの食育 犬山学
11月23日(土) 10:00~11:30 ● 人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋 伸子
犬山の健康づくりに、学校給食や食育はどのように関わることができるかについてお話しします。

名古屋経済大学オープンカレッジ申込フォーム



犬山市民総合大学敬道館